

新型コロナウイルス感染症の予防について（5月8日以降）

★これまでと変わること

1. 感染した際の出席停止日数

「発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで」となります。

また、発症から10日を経過するまでは、マスクの着用が推奨されます。

※ 無症状の感染者の場合は、検体を採取した日から5日を経過するまで、となります。

※ 「症状が軽快」とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にあることを指す

※ 「発症した後五日を経過」や「症状が軽快した後一日を経過」については、発症した日や症状が軽快した日の翌日から起算する

2. 濃厚接触者の定義がなくなる

これまでのように、濃厚接触者や感染リスクが高い場合に直ちに休まなければいけないということはなくなりますが、感染のリスクが低くなったわけではありません。

少しでも発熱や風邪症状等がある場合は学校を休みましょう。（出席停止扱いとします）

※もし、同居家族に陽性者が発生した場合は、学校へ連絡をお願いします。

また、念のため、検温や健康観察、マスクの着用や咳エチケット、近距離での会話や接触を避けるなどの感染予防をお願いします。

3. 毎朝の検温・体調の入力は必須でなくなる

→入力は必須ではなくなりますが、毎朝の検温。健康チェックは体調管理、感染症予防のため大切な事です。これからも積極的に続けてください。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後においても、

検温、健康観察等による健康状態の把握（家庭と学校との連携）
適切な換気
手洗い等の手指衛生や咳エチケット

が重要とされています。

また、地域や学校において感染が流行している場合などには、活動場面に応じて

「近距離」「対面」「大声」での発声や会話を控えること
生徒間に触れ合わない程度の身体的距離を確保すること

等の措置を一時的に講じることが考えられます。

日常において注意すべき大事なポイントです！

これからも普段の生活で気を付けること

- 1 石鹸での手洗い（20～30秒）・手指消毒
洗うタイミングは、登校後、教室へ入る前、食事前、トイレ後、体育後、部活後、帰宅時 等
- 2 密閉・密集・密接を避ける
- 3 咳エチケット
- 4 必要時のマスクの着用
・混雑した電車やバスを利用する ・医療機関・高齢者施設等を訪問する ・感染症流行時
・自身に症状がある時 等
- 5 顔に触らない（目、鼻、口から感染をしたり、触った手から感染を広げてしまうことがあります。）
- 6 ハンカチ、タオル、飲み物等は各自持参し、共有はしない
- 7 十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動をし、免疫力を高める生活を心がける。

学校生活についてのお願い

- 1 朝の時点で体調がすぐれない人は登校しない
発熱や咳、のどの痛み等風邪症状、嗅覚・味覚障害、倦怠感、息苦しさなどがある場合には、登校を見合わせましょう。いつもと様子が違い、感染症が疑わしい場合には出席停止(欠席扱いではない)となります。症状がなくなり登校する際には、欠席届に捺印して提出してください。
- 2 登校後も症状が現れた場合は無理をしない
登校後も風邪症状等が出てきた人は保健室へ来てください。授業中でも、同様です。
- 3 教室の換気（みんなで協力しましょう）
①常時換気：廊下側と窓側の窓を対角線に開ける。10～20 cm程度。廊下の窓も開ける。
気候が良ければできるだけ多くの窓を開放する。
②休み時間ごとに窓を開ける ③換気扇を回す、空気清浄機を使う
*可能な限りすべて行う。気候上①が難しい場合には30分に1回以上、数分程度窓を全開にする。
*各教室にCO₂モニターがあります。1000ppmを超える場合には大きく窓を開けて換気をしてください。
- 4 昼食時は、換気を適切にし、大声の会話は控える
デスクシールドは適宜活用してください。また「近距離」「対面」「大声」での発声や会話を控え周りに飛沫を飛ばさないように注意しましょう。
- 5 清掃時、ドア取手周囲、スイッチ等多くの人が触れる場所の消毒
各教室：ドアの取っ手、スイッチ等
トイレ：ドアの取っ手・鍵、スイッチ、ペーパーホルダー、洗浄レバー等
その他：階段の手すり、自動販売機のスイッチなど

